

津幡の空から

石川県学校生活協同組合

2020・6月号

石川県学校生活協創立71年目（信頼・安心・安全・適正・平等・協働・貢献）

新型コロナ対策—キャッシュレス・外出自粛

今、石川県学校生活協同組合の存在価値大！

新型コロナウイルスの非常事態宣言は取り消されましたが、感染の恐怖がなくなった訳ではありません。いや、今から私たちが免疫を得るまでの1~2年間はウイルスと共存しなければならないのかもしれないかもしれません。その間、私たちが、どのような行動をとるべきか、本当に考えるところです。危機感を持ち過ぎて、過度の委縮では楽しくありません。最低限、安心した生活ができるように工夫したいものです。

そのために、石川県学校生活協同組合は、皆さんの安心・安全生活を助けます。幸いなことに、石川県学校生活協の購買形態は、組合員は外出することなく、文書注文によって商品は直に届き、決済はキャッシュレスというものです。この形態は、まさに新型コロナウイルス対応に求められている形態です。この形態をより強化させ、「信頼・安心・安全・適正・平等・協働・貢献」の7つの理念を実現させます。

現在、夏の全員利用運動を展開しています。今までの様に、生協係会で商品説明・購入お願いという手続きができませんが、どれも絶対おいしい商品ですので、自分だけでなく、愛する方にもプレゼントとして購入をお願いします。



4月末経常剰余金決算 172万円の赤字。計画よりは162万円の改善！

石川県学校生活協の2020年度4月決算は、経常剰余金172万円の赤字です。その状況を詳しく見てみますと、順調な事業剰余は、通信106%、フレッシュ共同購入149%、営業138%、指定店一般205%の4事業です。厳しい事業は車検事業88%、ガソリン事業の90%です。私たち職員が担っている自主供給事業では目標比137%、指定店供給は108%で、どちらも好スタートを切ることができました。

まずは第1四半期が重要と考えています。この3か月間、とにかく職員一同頑張りますので、これからもよろしくをお願いします。

石川県学校生活協同組合は、県内の教職員を対象とした職域生協です。学校という職場の中で教職員の生活を共同で守り向上させることを目的に結集した福利厚生組織であり、石川県の教職員の自主福祉活動や消費者運動の拠点になっています。

「バッハの無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータ」北本 豊春

様々なコンサートではバロック時代以降の音楽が演目として組まれていきます。バロック期の代表的な音楽家と言えば、誰よりも先に、ヨハン・セバスティアン・バッハを挙げなくてはならないでしょう。バッハは一六八五年にドイツで生まれました。バッハの一家は音楽家の系統であり、一族が音楽関係の仕事に従事していました。その頃は、音楽は芸術と言うより職人の技巧であり、家業となっていました。バッハは、何度も転職し、様々な教会や宮廷でオルガン奏者として勤めました。楽長・教会の音楽監督・作曲家などの職を転々としたのです。素晴らしい曲は数多くありますが、無伴奏ヴァイオリンソナタとパルティータは、一際優れた作品です。ケーテンの宮廷楽長として六年間勤めた際に、この名曲を創作しています。二〇一八年に、日本出身の名ヴァイオリニスト五嶋みどりは、全曲をケータン城で演奏しています。NHKBSで、実演が放映されました。この素晴らしい名演は、手元にあるレコーダーのハードディスクに保存してあります。貴重な宝です。巨匠レナード・バーンスタインの指揮で、「セレナード」第五楽章演奏中に、E線が二度も切れると言うアクシデントに見舞われました。五嶋みどりは、他のヴァイオリニストに持ち替えて見事に演奏を成し遂げました。『ダンクルウッドの奇跡』として、アメリカの教科書にも掲載されたエピソードです。CD名盤としてはアルトゥール・グリユミオーの名演があります。

編集後記

「ねえ びよちゃん」（青沼貴子著）が毎日楽しみ！
「ねえ びよちゃん」と言っても分からないかも知れませんが、これは北陸中日新聞に毎日掲載されている四コマ漫画の題名です。青沼貴子さんという人が描いているもので、毎日最初に読んでいます。例えば1コマ目「びよちゃんが昼寝をしています」2コマ目「そこに猫が来てゴロゴロといびきをかいて一緒に寝ます」3コマ目「するとびよちゃんはそのゴロゴロをカミナリと勘違いしてこわいと目を覚めます。」4コマ目「猫はすみませんと謝ります」こんな話なのですが、漫画にするとクスッと笑ってしまうのです。猫とその家族、周辺の日常生活をヒントに描いているのですが、その切り取り方が面白いのです。（道祐）